

繪本
塙且臣勲功記

二編
壹

遠東
2209
11



門遠13
番2209
卷11

源義昭公之像



足利十五代之正統
從四位下參議左近衛中將

源義昭公之像

櫻澤堂山編輯
一勇齋國芳畫

印里必肉

繪本豐臣勲功記 二編

浪華書肆 群玉堂
文海堂

濃州稻葉山
第三之城主

齋藤右兵衛大夫
龍貞之像



前菩提之

城主

羽柴

副師指

竹中半兵衛尉

重治之像

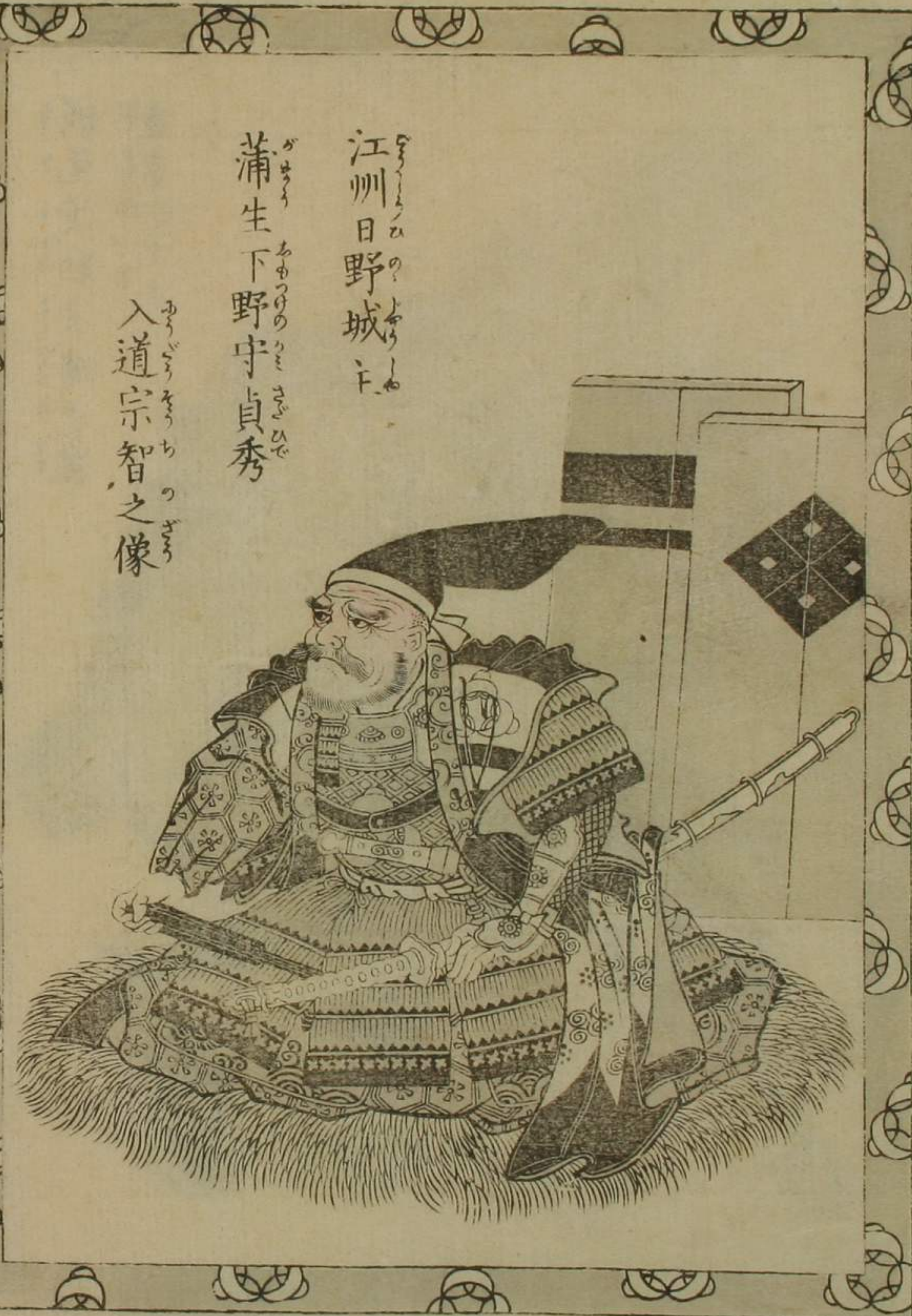


洲^{すの}眼^ま城^の主^{ちゆう}
木^{きの}下^の藤^{ふじ}吉^{きち}郎^{らう}
秀^{ひで}吉^{きち}之^の像^{ざう}
出^で二



堀^{ほり}尾^お茂^{しげ}助^{のすけ}吉^{きち}晴^{はる}之^の像^{ざう}
童^{わらわ}名^な仁^に丸^{まる}





江州日野城下

蒲生下野守貞秀

入道宗智之像



蒲生

右兵衛

大夫

藤原

賢秀之像

江南領頭

觀音寺城主

六角彈正少弼

佐々木源氏義賢

入道兼禎



繪本豊臣勲功記二編壹之卷

目錄

昭海人高臨邊玄、水鏡勇

属禮使江列

信長兵濃攻本下作英旗

属謀源自軍

木下藤吉郎所諱の色旗

属 澧川素性

澧川一益窺虚棄赤名坂

属 蟹江防戦



繪本豊臣勲功記二編卷之壹

櫻澤堂山 編輯

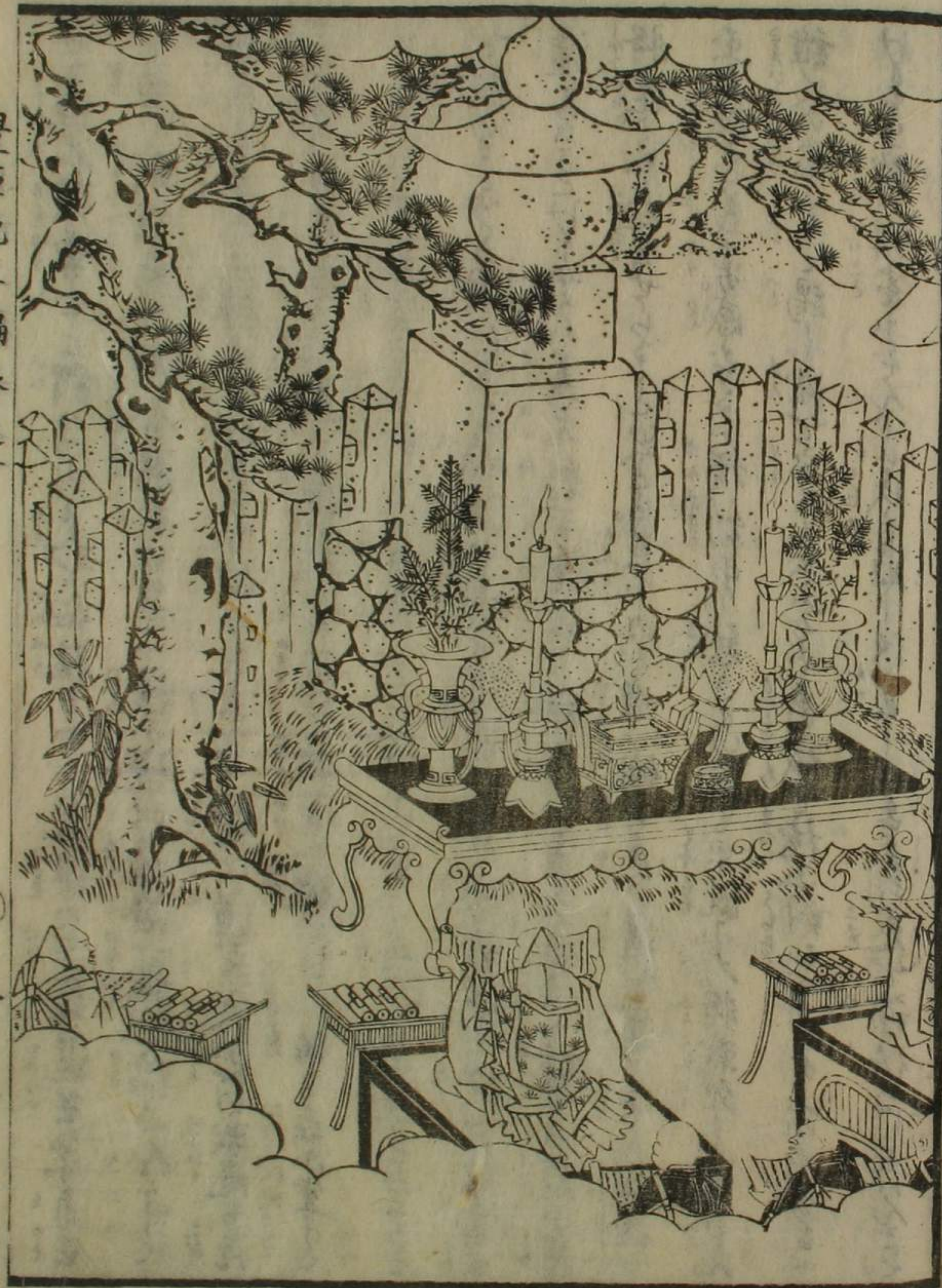


鳴海城將陳退去不寬勇属禮使江列
浪燭萬穂よく照せども一陣の風小滅し松燎一燒嘗て消る律
た。今川の大軍小次捷大將義元朝臣を初とて名ある雄士と多く
設授を首級と法測小致く收實檢と遂早ぬ响小本下藤吉郎秀
吉織田殿小童としく。這遭今川義元朝臣せうも取玉不縛の自軍十
分の勝利と申すの。嫡子氏直本國小田守しぬま。智勇の老臣諸士と
所擔らひ吊軍と企ぬらん是ま。諱く。た大事あり。所要ありて然る
登しと言條。なま。織田殿所さ。實も汝が重と条。予も願せり。胸を

痛めし斬を斬ふ小その御ありやと問せ給ふと孫吉郎。這事極えて
難儀小似こまご防衛の略術をとりあり。そ不認いんと是を渡り小義
元朝臣の首級とりて禮を厚くし早く獲府へ饒を遣えし。又把る
家のみらひとて一遭敵討まわらよとまご討らむ打勝けうい最早こを迫の緯
小儀折首返一参らよとし氏直方へ命遣一。然く義元戦死せ。四座へ
二座の憐れ流され人將を編こく諸公士の屍を懼め衆僧を連く法念を
催一。之室小供養したまひ。故る軍の心小も義有後中の慈恵ある奉
止らむと感伏して恨を散らひん且まらむ。後還の難者まで。若く徳義を感
稱さ。遠國までも披瀝せん。然よまご若く智と勇とを千里の外小所とる
道理こそ馬全の計策小やと勅め奉らじ小周信長大人感一。多ひ者吉
部が京とごこ。義元朝臣が敵とりて十重ある筈小あまを收納僧徒十人小

△義元の墓
ハ寺油の末
ある下敷書
小ハ林入る
由五二〇
△幸於樂
此ハ保山
一耶

早きを。生提安さる。同明の林路跡を棺塚小漆つ。強引府中。小勢連め
也。て。石法別より。大余町と隔て。一里。南次賀は。執田道小。大なる。塚を
築り。大卒都波を遣え。大法會を修ら。千部經を讀誦さ。し。む。諸又
海海の合戦花令川勢の捕籠りし。皆掛池。野新鴨原など。遠城を。軍會
ことごとく。戦さ。怖。強財を當て。死に還く。申小。然く。海海の城は。防衛
の備嚴重小。強ふ。一。善。去。せ。そ。も。遠城の大將。今川家の老臣。小。て
岡部五郎。善海。長教。も。五。百。余。騎。小。龍城。一。つ。ぞ。織田家。諸。公。と。多
勢。小。く。隙。隙。さ。き。心。志。ま。と。長。教。茲。と。防。戦。て。少。も。弱。く。親。及
ひ。信。長。こ。ま。ご。所。一。は。さ。ら。バ。倍。と。心。志。を。向。ん。と。指。揮。さ。し。給。ふ。と。者。吉
部。進。も。出。て。言。狀。と。今。款。方。の。城。を。都。て。還。散。り。つ。る。も。中。小。岡。部。一。個
小。勢。を。厭。も。と。款。と。ま。ご。し。も。怖。ま。や。ら。む。尋。常。小。軍。一。と。更。小。弱。體。を。顯



義元の墳墓と
 築て織田家の
 武名と鳴海境
 高立せむ

長門言二糸

ざる。大張勇士と謂つ。史を征核りや。六ヶ渠の心死の運をあり。自ら
 も多く戦換を。十分勝利とせ。後小僧は鳴海一城を陥さんとして
 軍卒を失はん。律志るべからず。尚まるる急小墜し。海にん。君の威風も落
 らぐ。道理且の今川義元朝臣の首級を駿府へ馳せ。仁信も益小空く
 りぬ。帝萬端の計らひ。松便小こそ願はし。推く忠諫を。わらそ。
 諫のまふく用ひ。至ひ。鳴海の進退を。還るさ。固邪言へ。使者を。達云
 遣。と。色けら。やうの義元。長運疎く。戦死。こ。あ。の。後。の。諸。石。の。岩。の。衆
 將達。を。還。せ。ら。む。と。い。と。も。是。下。の。唯。一。個。弓。矢。の。道。を。賢。く。し。り。龍。城。し
 至。不。誠。忠。義。勇。感。と。小。播。刺。中。然。り。と。い。と。も。早。既。小。將。戦。死。した。ま。ふ。こ。の
 誰。人。の。為。小。力。と。竭。し。城。を。守。り。至。ふ。と。や。最。城。を。松。小。討。死。し。て。あ。ら。は。志。あ。る。べ
 け。と。歎。ひ。僻。事。小。ぞ。ん。と。い。氏。直。ぬ。は。ま。ま。と。是。を。補。佐。し。玉。ん。こ。と。

誠心とも重んじ。益は戦死するより。早く城を圍せ。至へ。朝小及び
 遠方より。決して。播磨あ。づ。ら。ず。昨。今。一。箭。射。し。り。は。是。信。長。の。指。揮。を
 ら。む。は。士。軍。の。揚。立。り。松。の。軍。小。使。ま。ら。は。心。小。懸。と。あ。ふ。武。士。の。道
 忠。義。を。り。て。致。と。達。と。盟。あり。歎。み。ま。く。忠。義。の。為。小。命。を。惜。ま。ぬ
 侍。士。を。ゆ。と。賞。賜。せ。ざ。ら。ば。倭。て。醫。偏。長。を。ら。む。心。安。く。思。ふ。と。道
 理。を。尋。て。と。贈。る。是。終。懸。く。こ。を。听。て。信。長。の。仁。義。を。感。ず。命。を。惜。ま。ぬ
 辱。し。我。義。元。の。恩。義。小。む。す。忠。の。心。を。込。め。今。又。ま。を。此。城。を。守。り。は。ま。も。
 外。小。援。も。も。た。ら。ず。忽。ち。落。城。を。と。ま。小。義。を。達。信。と。お。し。め。い。ま。還
 散。せ。よ。の。沖。發。こと。逃。も。ぐ。も。有。さ。ず。さ。の。小。使。を。小。使。奉。ら。せ。達。小。還。ま
 仕。ら。ん。が。小。長。教。願。ひ。の。條。あり。大。將。義。元。の。遺。骸。を。我。小。と。賜。ら。ば。後
 府。小。供奉。し。奉。ら。て。ん。忠。義。を。懐。小。あ。ら。ん。と。激。し。り。て。京。を。小。を。後。田。啟

源く忠義と感し、最奇持の本誓ありて、評義元の遺骸と興へり。
 遠一條の擲さつは、河内城少の織田信長、遠道戦功ありたる族（某の族）
 く恩賜あり、中小籠て若田大千代は、類なれ戦功せし。信長不とく感
 愧し、玉ひ、小籠て若田大千代は、類なれ戦功せし。信長不とく感
 させらる。魁隊頭小籠て若田大千代は、類なれ戦功せし。信長不とく感
 主取こき、秀吉の恩惠ありとて、孫謝する。信長不とく感
 愛小籠て若田大千代は、類なれ戦功せし。信長不とく感
 人しも、強き勝さく、褒美と祝へ、謝禮さく。若田大千代は、類なれ戦功せし。
 禮の使者と命せらる。河内一遣さし、孫吉舟ハ彼を軍へ戦場少く、捕
 した。甲冑多器と興へ、後、蜂次賀賀父子小籠て若田大千代は、類なれ戦功せし。
 長公小仕一人とあり、信長。今、普く、致す。若田大千代は、類なれ戦功せし。

せ、梳撥をべ、方便あり。その、响、漸く、遠うらむ。我、右とく、待果せて、大功を
 遠く、多とく、と、最、懇、小、籠、て、若、田、千、代、は、類、な、れ、戦、功、せ、し。
 嬉し、と、只、言、是、り、小、信、せ、中、宣、小、計、ら、ひ、玉、ひ、ね、と、底、を、も、み、く、禪、後、は、う、ち
 伴、寄、て、熱、田、小、云、上、り。若、田、千、代、は、類、な、れ、戦、功、せ、し。
 隆、き、。船、の、如、く、踏、次、を、借、り。河、内、一、遣、さ、し、孫、吉、舟、ハ、彼、を、軍、へ、戦、場、少、く、捕
 別、小、籠、て、若、田、千、代、は、類、な、れ、戦、功、せ、し。信、長、不、と、く、感、愧、し、玉、ひ、小、籠、て、若、田、千、代、は、類、な、れ、戦、功、せ、し。
 登、り、織、田、より、謝、禮、の、使、者、あり。と、城、主、（、案、内、）と、通、せ、し。久、家、人、が、こ、こ、を、送、
 て、着、り、小、籠、の、本、下、を、う、ら、む、は、先、立、例、を、鉄、志、館、小、對、面、を、せ、り。若、田、千、代、は、類、な、れ、戦、功、せ、し。
 の、答、應、あり。と、若、田、千、代、は、類、な、れ、戦、功、せ、し。信、長、不、と、く、感、愧、し、玉、ひ、小、籠、て、若、田、千、代、は、類、な、れ、戦、功、せ、し。
 遣、ま、し、故、を、う、ら、む。若、田、千、代、は、類、な、れ、戦、功、せ、し。信、長、不、と、く、感、愧、し、玉、ひ、小、籠、て、若、田、千、代、は、類、な、れ、戦、功、せ、し。
 帰、り、ぬ、信、長、の、信、長、と、新、波、の、家、人、と、侮、ら、で、鬼、神、の、係、り、を、ひ、き、織、田

家と義兵を結びとあり。新へ本下孫吉舟の法蘭城小立陣。六角家の
 の款待徳也寸分落さく言出せし。信長殊小就び至ひた。ある陣上中
 平も察せり。願ひて依り本の家族の膽を拗ぐ小軍足り。来東懐眉の
 如く小あひい。今川義元は伐果さる。是よりいづきの款せり討ん。諸士の異
 見し。所まふし。と命察さる。本下秀吉のま。他國へ軍を出し。款と段登り
 响小あひい。捷て飛の緒と志む。と世の誇小も東とさ。随分をを調練と
 せらる。後と強なり。玉ふと。肝要小ひさ。然し。後小信地へ。と河出馬あら
 せらる。然きて出陣し。あさ。義元が嫡子今川氏直。い。小軍慮小味
 くとも。各小違ふ。居家多。父は吊合戦せん。と再々。當的。尚國を征
 伐ん。是を防ぐ。河準備と。ま。成し。玉ひ東の一方。河心小安。懐さ。は
 一。出馬の。河法志。と。方便。新。や。と。書。河。の。

親しく行せり。後小此歳。義元。永祿四年とあり。織田殿方僅。東
 方小心。懐も。款も。然ら。他國へ出馬。さん。小。兵。懐。へ。来。東。遺。恨。の。國
 ち。ま。各。違。ふ。居。家。多。父。は。吊。合。戦。せん。と。再。々。當。的。尚。國。を。征
 伐。ん。是。を。防。ぐ。河。備。備。と。ま。成。し。玉。ひ。東。の。一。方。河。心。小。安。懐。さ。は
 一。出。馬。の。河。法。志。と。方。便。新。や。と。書。河。の。
 親しく行せり。後小此歳。義元。永祿四年とあり。織田殿方僅。東
 方小心。懐も。款も。然ら。他國へ出馬。さん。小。兵。懐。へ。来。東。遺。恨。の。國
 ち。ま。各。違。ふ。居。家。多。父。は。吊。合。戦。せん。と。再。々。當。的。尚。國。を。征
 伐。ん。是。を。防。ぐ。河。備。備。と。ま。成。し。玉。ひ。東。の。一。方。河。心。小。安。懐。さ。は
 一。出。馬。の。河。法。志。と。方。便。新。や。と。書。河。の。
 思。は。れ。た。事。も。多。く。不。小。意。忽。の。行。跡。あら。せ。ら。ま。て。大。謀。成。然。の。妨。多。く。義。統。不。孝。の
 人。も。多。く。城。内。の。諸。士。ハ。小。方。を。ま。と。國。中。上。下。統。一。懐。々。又。軍。略。も。尊。當。り
 ら。だ。等。雨。の。款。と。思。と。づ。ら。だ。義。元。得。の。猛。將。あ。ま。ど。も。武。威。小。誇。る。く
 款。を。強。ん。ど。と。方。小。軍。と。考。せ。し。ゆ。君。の。為。小。毀。ま。り。是。を。若。車。法。儀。み。れ
 ば。他。國。へ。出。馬。あら。ん。少。心。懐。の。利。と。考。へ。ん。と。ん。と。あ。ら。と。禍。多。く。と。火。急。せ
 至。ら。不。小。あら。だ。今。是。を。ら。く。と。河。法。志。と。と。東。と。ふ。より。信。長。心。小。懸。ね

とも大切の本下が調由へとも有る信せらるも無らば遠路小軍之法調練出精と
一とて朝夕と形くこと練り武を講とぞ在る多ひなる

信長が濃征秀吉也延籍属謀所自軍

智ある敵を介後くと侍勇ある敵を介速小殿とい是軍法の奥儀あり秀
言こそまを宗とくはま。その進退小随ふ。主君を諫め余らまをまど。り
より烈し大將をま。周ゆる氣色をた機會くら。兵濃へ潜立一情士。忠
あはさ。き。席。秋。孫。治。部。大。捕。義。龍。當。月。十。日。病。死。せ。り。と。告。る。小。信。長。大
小。信。長。汗。行。憾。や。平。使。より。送。子。義。龍。の。首。を。殿。へ。道。之。の。仇。を。報。ひ。ん。と。来
東。情。起。り。し。小。信。長。吉。原。が。割。止。小。依。延。一。つ。こ。そ。後。悔。な。き。平。道。之。の。首
魂。小。信。と。面。を。朝。べ。り。ん。と。大。小。辨。ん。で。西。小。の。方。小。向。ひ。て。足。を。踏。り。怒。自。り。今。さ
ら。事。を。起。と。練。跡。の。多。り。とい。ふ。少。あ。き。ど。と。虚。小。素。と。て。兵。濃。小。推。進。せ。

義龍が居城をま。濃。と。ま。濃。と。成。成。恨。と。散。せん。迷。小。出。馬。の。準備。と。兵
せ。と。と。殺。圍。く。約。を。玉。ふ。と。本。下。秀。吉。劇。情。き。出。は。り。形。ハ。并。も。東。西。小
程。を。玉。ふ。兵。濃。へ。出。馬。あ。そ。ま。と。い。預。人。言。吐。ひ。せ。り。如。く。君。小。素。と。又
下。と。正。し。兵。を。安。樂。き。き。い。ひ。ま。い。大。事。を。懐。起。さ。り。也。又。正。歸。の。難。言。何。候
ふ。如。れ。奉。止。ん。在。山。又。道。之。入。道。の。復。讐。せ。ま。ま。ん。漸。事。迄。も。も。理。小。恨
も。也。能。令。實。は。父母。の。漸。仇。と。さ。も。時。節。を。得。く。十。分。の。務。利。あ。る。べ。し。と
あ。る。小。洲。兵。又。の。仇。ふ。と。大。切。の。漸。身。小。禍。あ。ら。生。せ。さ。る。了。父母。小。不。孝。罪
罪。を。得。る。ふ。の。も。う。末。世。小。不。覺。の。名。を。流。さん。兵。濃。今。義。龍。軍。を。一。て
龍。與。系。弱。の。大。將。を。ま。得。時。多。と。懐。と。ま。ら。ん。義。龍。が。も。せ。り。却。て
殿。と。成。ご。う。と。一。と。不。認。い。ん。と。こ。ま。と。推。小。素。孫。家。小。智。勇。の。臣。家
最。多。く。孤。弱。の。龍。與。と。ま。守。護。し。て。補。佐。の。力。を。竭。く。ま。兵。諫。を。用。ひ。ぬ

義龍より國城を望み、新要法を考へ、味怒小洲出馬催す。勝
 なまふ得、賞米を。倘勝利をば得らば是れは是れ功勞も、後事と
 成ぬべし。龍與米若来るまは、臣家の心小随ふべき。殊米かと領るものな
 らば、老臣諸士の教訓を誦し、君臣自然と隔心して、定んば内憂を生むべし。
 是時米を乞ひ、智略を遠くし、然して彼を伐する小勝利を得るといふ得き。
 道理を能く辨明ありて、而今所出馬はを用ありと、類り小止申し、
 とも信長更小諫を用ひ、まきく怒るまふより。秀吉今ハ推込て、再諫
 せしむ。御まは如何せん、我獨子と傲して生るるを。諸織田殿ハ五月十
 二日の曉、小千余騎を率、隨へ西兵、深きく岩向を。然りとに、秋高、新井
 長井、甲斐、吉田、根野、下野、吉と首將とて、森部、の里を、出逢へ、織田の
 小勢と併へ、隊伍を建て、合戦せしむ。右横た横、小勢も、敗る。長井、日根

野の、敵將も、同く、小戦死せり。織田、敵大小、悦び、至ひ、遠城、小勢、
 攻進る。唯一、探小居城を。稻葉、山と、探、隠さん、を、率、勇、也、と、指揮、
 する。柴田、權六、佐久間、右衛門、の、倅、二、口、同、吉、小、初、と、並、へ、遠、色、源、田、小、勢、
 きたる。進退、不自由、あり、め、心、自、國、の、案、内、よ、く、知、る。長井、日根、野、
 と、ら、打、輪、り、。敵、を、り、く、難、う、と、思、ひ、自、軍、も、海、く、進、む、に、心、難、る、事、の、
 一、敵、一、點、北、は、け、る、を、遠、道、の、功、と、り、至、ひ、所、攻、陣、首、と、然、る、と、り、
 上、の、小、信、長、も、敵、敵、之、百、余、あり、と、看、て、也、。怒、を、法、め、る、に、遂、小、清、洲、へ、
 凱、陣、あり、。諸、本、下、を、唱、出、し、。予、之、千、餘、小、勢、を、り、て、六、千、余、の、敵、を、破、り、
 首、之、百、餘、練、の、を、り、ら、ど、長井、日根、野、の、大、將、を、最、量、く、殺、得、り、。是、言、
 米、小、千、と、諫、め、也、。敵、小、智、勇、の、者、多、く、と、思、は、れ、と、せ、し、ハ、度、事、を、最、量、
 漢、武、者、の、修、練、の、誠、を、り、。何、量、の、事、も、な、し、。又、々、近、目、出、馬、と、。遠、城、を、心、を、

豊臣 長門 備前 備後 美濃 尾張 越前 加賀 石見 出雲 備前 備後 美濃 尾張 越前 加賀 石見 出雲



美濃の伐の軍を襲くと
信長
河原
隊伍と
整と

豊臣 長門 備前 備後 美濃 尾張 越前 加賀 石見 出雲

稲葉山と微塵小をて年来の恨とせしめんとし、日とつて小と悟哉小宣へ、藤吉
 弟の恭しく、捷軍と祝し終り、然しく初と草小更さく。遠達の軍小健くあふ
 る。全く不特の僥倖なき、万望遠城とるに、なまを再び、大濃(河)費
 向の折とく思る止し、作へ長井、甲斐、吉田、根野、中野、ちをど、統る不足ざる
 兵、濃、武士あり。うさひて出軍、遊さる多勢とりて、出逢へ、如ゆる奇計の防や
 あらん、秋、遠、事、禎、て、思、縁、得、を、左、小、右、残、来、を、誠、合、至、(と、駿、道、身、を、練、是、大、
 更、小、用、ゆ、り、氣、色、昭、く、一、向、出、馬、法、准、備、小、て、既、小、五、月、下、漸、ち、り、し、が、二、千、余、騎、を、
 列、隊、し、改、道、川、せ、う、ち、流、し、兵、濃、の、國、へ、入、せ、ら、る。遠、次、本、下、藤、吉、弟、を、
 残、兵、さ、定、め、り、し、が、思、ふ、子、細、あ、り、と、り、つ、て、頼、り、小、供、を、頼、ふ、ふ、り、と、ま、ぶ、く、な、が、ら、
 己、具、一、ま、ふ、秀、吉、禎、く、遠、次、の、自、軍、必、定、敗、軍、あ、ら、ん、と、思、ひ、決、一、事、を、
 り、由、(其、と、深、え、ん、方、術、を、構、へ、先、隊、小、を、進、ま、ら、る。諸、も、濃、列、稻、葉、山、小、の、伏、

藤吉與諸將と、意め、軍法、詳、説、し、け、ら、る。尾、羽、別、織、田、勢、先、達、く、戦、捷、し、を、
 功、と、て、必、再、び、進、来、ら、ん、小、ま、り、善、提、の、城、を、竹、中、守、重、治、の、子、が、り、と、
 糧、を、軍、師、と、ら、ん、と、使、せ、り、と、指、さ、り、む。ま、は、小、依、り、軍、を、濃、重、治、一、義、小、及、を、
 と、召、小、應、じ、款、進、来、ら、ん、防、ぐ、べ、し、方、術、の、妙、を、如、く、と、配、伍、を、定、め、待、下、小、
 信、長、を、濃、二、千、余、騎、川、を、流、し、て、濃、列、を、新、加、納、某、法、を、色、を、進、ま、れ、
 ころ、竹、中、守、重、治、重、治、の、治、伴、を、所、と、致、し、く。ま、り、日、根、野、備、中、守、小、五、百、
 余、騎、を、屬、て、新、加、納、の、小、小、樺、伏、を、同、身、彌、次、右、衛、門、と、五、百、余、騎、小、を、その、
 西、の、方、小、伏、を、重、治、禎、く、指、揮、し、と、謂、ゆ。備、中、守、の、密、一、門、地、小、信、長、の、旗、を、
 (擲、義、り、大、將、を、當、的、に、戦、之、し、)又、彌、次、右、衛、門、の、織、田、方、の、先、陣、と、藤、本、との、
 其、中、間、を、對、敵、に、款、の、逆、小、救、を、ま、ぬ、其、要、法、を、徹、さ、せ、ら、る。諸、も、牧、村、平、
 之、助、野、本、次、右、衛、門、の、あ、ん、と、二、千、余、騎、小、を、驅、射、を、進、時、戦、ひ、合、戦、を、

右と左一敗走し。暗号と所たためらざるを引込しと戦ふ。とそ分位と落
 まく定め。重浪自身二千余騎を。新加納村を本陣とし。龍興の旗を印
 と推樹し。将軍の長井集人小牧源右衛門秋篠九守左衛門八重治と諸とも
 小軍が進退を指揮した。織田家の舟候もせ帰る。只今軍の横槍を
 龍興に。秋篠龍興出馬と見え。新加納の北林小龍馬駿を標連ねる。こ
 邑口より先陣とつへ二千計も隊伍し。と告るを所く先懸ら。遠方も隊
 と之段小く軍せ下るといふ程こそ。先陣の例の如く。柴田佐久間三千余騎
 二陣の別森池田二千余騎せうとせし。諸之陣の大將信長旗おはれ
 二千餘騎既小進んとし。響魁隊と北谷看王。本陣よりつて五色
 小深最なるら小樹を旗あり。視聽をぬ。陰をむ。軍目懸の使者。藻
 田出羽也。と信傳。彼龍興の難也。と尋さる。多ふより。本中務吉角が旗

あり。と有の信小書出。は織田殿大少怒らせ。多ひ。意満懐あり。精冠者
 面を傳る。奉勅う。龍興く。奔べ。と下知。な。余。是。能。多。も。目。懸。は
 軍士走。所。龍興。り。と。て。五。色。の。旗。を。破。合。り。秀。吉。新。守。及。び。威。を。延。び
 評。多。算。出。し。丹。軍。隊。青。山。に。五。色。小。旗。り。落。び。こ。を。推。縮。へ。心。懸。小。進。ん
 ぐ。織。田。殿。も。こ。の。事。を。所。傳。し。声。果。ら。ず。と。大。少。憤。怒。し。い。ら。ね。ま。は。精
 の。形。を。大。將。の。命。を。背。く。と。急。ぎ。彼。所。を。破。捨。す。軍。法。を。正。し。し
 と。新。陣。へ。宣。ふ。小。樂。回。出。羽。守。強。め。れ。織。田。の。旗。も。せ。よ。上。意。を。背
 くに。と。し。し。早。く。お。奔。至。し。と。龍。興。秀。吉。告。す。て。い。ふ。や。う。と。意。を。あ
 ま。は。し。龍。興。も。さ。し。然。る。願。ひ。が。ら。遠。近。の。威。を。示。す。と。為。小。も。有。る。を。増。く。や
 軍。中。戲。程。を。所。作。ら。ね。ば。小。信。新。守。へ。参。上。し。東。解。難。は。ら。ん。と。て。柴。田
 已。共。小。本。陣。へ。出。は。せ。り。目。懸。衆。こ。を。破。滅。し。る。を。織。田。殿。備。も。思。氣

烈しく。いふ小末中功小室。我意を志し。素小目熱ぬ旗を用ひ再び
 の余小背く。言経道歩と謂ひ。鶴鷹のつとむり玉。乃者古辭を
 も騰せ。静小答へて重とや。是を再こそ意を犯。出馬の事と
 諫め奉らせ。若所用をけまご。花さど知ながら助部。そまらぬ
 忠義小のらと。小居歎の曉暎と探る。小果と奇計と設け。緯脱小議
 作。遠道は合戦の匂。河勝利のひも縁ら。河難戦の緯と察
 察らせ。場小隙人々用ひんと。作設。標小旗當目。作らる。流
 刻所外と。歩權ら。流ながら。作建。五色は標小必用の事。故
 推て存び。作本緯或の紙を用ひ。延と必く標とせ。緯今日一
 不用の。金く若と侮り察らせ。氣随の新為と。ああら。東小も西
 も。若河意小。從ひ。命令と。顧るも。中心信る。河意小違ひ。作も。若

河為才と。存るも。忠義小。只河軍は。輪さる。小工。是は。考付る。延
 る。む。河免と。若。尚。小居。ま。緯。功。ま。作。
 如何る。軍令小。も。乃。ま。方。僅。ま。之。時。計。が。延。の。標。と。合。置。ま。敷。
 づ。き。や。只。管。小。拂。ひ。を。ま。門。と。思。入。る。東。を。小。より。織。田。敵。怒。ら。せ。こ。ま。ひ
 る。が。ら。も。是。後。渠。が。奇。計。取。ら。ん。と。願。小。信。せ。く。敵。ま。ま。こ。り。秀。吉。大。小。安。途
 る。忽。隊。也。と。置。懸。く。謀。本。近。く。拍。せ。り。然。や。ど。小。先。陣。を。柴。田。伏。久
 間。の。大。將。二。小。余。騎。小。て。正。魁。小。進。め。バ。森。池。田。の。二。勇。士。も。全。ト。く。二。年。を
 長。蛇。小。備。率。進。り。て。推。進。す。こ。離。ま。く。大。將。信。長。謀。を。撰。採。く
 二。不。有。余。騎。隊。也。際。際。形。く。ら。も。察。と。先。陣。を。小。新。加。納。の。欲。は。陣。營
 小。幾。き。け。ま。小。孫。方。が。魁。隊。の。大。將。牧。村。才。之。助。野。本。治。右。衛。門。二。十。余
 騎。と。二。隊。小。に。け。備。と。並。て。勅。り。しが。織。田。勢。の。進。る。と。着。て。魁。首。備。と。操

信長怒て
藤吉郎が
五色の旗を
禁め
む



發一名院をこし放發し追柵さん威勢を傲き柴田佐久間も決意小指
 揮なり多院二之夜放りやいな搦手の面々遣推把敵陣當的の塞一
 門地小面も振らど冲免る事孫方も方りと全く進んで槍を合せ
 と槍途と防戦ひ鋒を教らて操合より慈ども兵濃勢大軍ひま
 尾張勢の二千余騎せ心小知れ單に刺さる敵んと逃け柴田佐久
 間ハ小勢なきども何れも所々猛勇なりと二と小吹柵さんと望
 と形く様となく集散用合鋒の徹らんを小戦ふら牧村野木の支
 將ハ頑て竹中重治が謀を領し時分なりと拒抗さる小て故意百次
 小顔起右顔左側小教礼を柴田佐久間の得たりや得たりと猶小索て追
 蒐けまば汝孫方ハ起脚なく加納村まで逃散り儀田勢いやく搦ひ
 猶く真叫んで逃散るとる本加納の陣中より竹中半兵衛重治一千余騎

小て顯出姑く此小處より柴田權六依之間右邊の牧村野木に千余
 騎より吹潰し勢起り竹中半兵衛が子孫孫と層とも
 思ふこそ帝一戦小遊散り能奥の陣小吹散らんと猛虎の像く激
 叫するに遂小竹中が千余騎を吹散し一時小颯との山明を厥
 を捷しと柴田權六正魁小進んで難なく敵の逃るがかり海さ小深
 ぶとと遊行て林法中を退るなり是れと敵も小顔て視放る敵は地
 逃るけん百歩計も隔てし固小龍奥の旗馬標風小靡きて翻転り柴田
 視より武者揮し彼も當的敵陣をぞ亦や蒐まると馬小拍統小進め
 既途なり自地も小騒と形し練て敵を後脊小の雲を渡り像死敵の報
 不を先と斬寒き鯨小せんと推捕用の牧村野木の千余騎竹中が
 隊伍と一纏小あり四千有余騎正固小固言をほりて攻蒐る得の柴田



豊臣記二編卷之十一
竹中重治の奇謀
此不熟く柴田
佐久間の軍勢を
單撃いよ





其二

森池田の

両隊

死を必
えを
困戦

圖



大小得き。嘯聲して、汝孫方の謀小隙あり。嗚や、公量の事、有らん。も彼、
 出づる。と、真を味する。暴風の像も威を揮ひ、馳達らん。と、来ぬ。わど、
 敵多し。右の丘、小隙もろを流せ。白の如く。射幕らも、樹際際を。鐵田、
 あま、小隙もろを。道は出づ。道路は、矢ひ方儘こそ。戦没とらん。これ、
 二陣、小進。且、森池田の是。と、遠小着る。よりも、魁隊の思慮、かく、添入。と、
 敵小圍も。是、吾戰法相あり。急ひて、派出さんと。塞直地、小沖投。敵多し。
 と、申せ。圍は、く。奈も、倣さ。と、通。一。り。覺來、く。ハ、思。と、も。止。る。き。途。小。あ
 ら。と、進。ハ、池田。が。十。余。騎。面。も。振。ら。せ。伏。投。て。延。拔。る。と。森。こ。た。来。り。可。成。漢
 軍。旗。と。勅。り。然。る。小。大。將。信。長。の。先。陣。二。陣。の。勇。士。衆。添。入。り。と。敵。小。か
 こ。ま。ま。に。敵。花。の。は。と。所。一。ゆ。と。是。と。漢。と。ん。と。為。る。あ。ん。と。木。中。馬。米。小。進。塞。り。
 自軍の兩陣、も、既、小、敵の、着、兼、小、隙、あり。進、も、を、玉、不、得、り。と、と、謂、も、り。ら

ぬ、耳、小、利、利、く、何、と、一、声、の、嘯、号、の、決、地、破、と、聞、き。日、根、野、備、中、と、就、
 五、百、余、騎、少、く、突、發、き。乃、此、場、小、埋、伏、と、信、長、と、後、と、稍、久、と、と、不、得、
 小、自、軍、を、ら、練、用、と、法、法、概、の、八、丈、有、余、あり。と、大、輪、の、如、く、揮、と、大、將、目、
 當、く、打、進、と、勢、ハ、阿、修、羅、の、像、く。的、と、幸、ひ、羅、起、ま、り。自、軍、は、之、軍、制、化、
 き。傍、傍、小、さ、り、く、見、へ、り。响、本、中、孫、吉、市、秀、吉、鞍、臺、小、突、之、あ、り。樹、本、も、揺、
 く。大、言、揚、と、嘯、踏、止、と、自、軍、の、面、方、儘、中、時、も、と、ら、ら。敵、の、本、城、と、遠、棄、
 棄、れ、ど、よ、く、保、下、と、今、進、時、今、後、ま、拒、抗、が、ま、よ。稻、葉、山、小、大、は、法、養、り、ん。と、
 敵、も、忽、地、背、壞、と。取、小、せん、陣、必、然、好、り。還、り、を、軍、旗、や、旗、や。と、味、ら、り。嘯、
 け、と、指、揮、と、ま、り。敵、も、自、軍、も、心、小、隙、と。望、と、繁、ふ、と、隙、小、森、と、大、東、二、可、
 成、ハ、池、田、と、親、舍、大、將、の、旗、本、當、り、と、返、さん、ず。若、路、と、突、途、載、杜、と、日、根、野、
 孫、次、右、衛、門、弘、繼、五、百、餘、騎、少、く、顯、土、森、と、遠、く、返、き、を、と、嘯、老、ひ、つ、尾、列、勢、



神田川に陣を敷く

秀吉の妙計
 浅野の兵衛を
 起す奇兵を
 揮く



神田川に陣を敷く

先陣を加納村の山際小引引りて又大将の旗を
 備中守小越起りて之の隙の隙に別小戦幅をけしより。信長親く得勝と
 着法覚る心地。多ひ孫吉舟が謀ゆ。此途をめぐりと懐さるまじと今
 さら構方もなく必死小引つゝ責謝ふ時境本小孫吉舟。厥はや号と
 呼ぶ小引。浅野彌平長政が。勅懸とて走り出堆は岡小致勝。作
 務け。延徳旗とて。捧く揮匣せ。形も開も愛如思ひも縁らぬ。龍光寺
 山に牽連小立色の旗。龍光寺百匹松。龍光寺。願望の軍勢。敵百あり。
 兼盡せぬ。尾張武者が。稲葉山の楠園。馳向ふ。如く小着つ。りのたこみ
 小も勇ま。案前方法諸軍勢。志を理より。慌忙。如相い。如小と。霜間
 もあせむ。背崩と散れ。日根野。足寄。徳。小中。と。割。止。と。岡。が。小。て
 隊。小。漏。小。あり。も。備。中。守。も。孫。次。右。衛。門。も。藩。行。勢。小。誘。ま。心。あ。ら。ま。

還りたる。尋常の軍。あら。本。林。之。た。馬。の。遠。途。小。引。退。伏。を。以。て。場。と。な。ま。
 とも。唯。旗。を。以。て。氣。極。小。引。退。由。敵。と。人。道。七。大。將。と。一。隊。小。成。る。信。長。
 遠。陣。小。引。と。ら。ん。と。馬。れ。小。引。を。繰。切。る。本。下。秀。吉。声。烈。く。此。時。を。
 君。の。勇。氣。を。揮。を。戦。ひ。至。ふ。と。こ。強。ま。ま。と。誓。把。て。勅。め。ま。わ。ら。す。心。得。り。
 と。宣。ひ。が。二。千。余。騎。と。一。隊。小。引。と。搦。ま。と。進。退。を。一。柴。田。佐。久。間。池。田。
 の。こ。將。こ。も。小。引。く。脅。力。を。得。軍。を。整。め。て。退。返。姑。く。息。を。吹。嘘。さ。
 ける。柴。田。殿。後。隊。小。引。勢。り。多。ひ。遠。途。を。最。一。夜。烈。く。進。ん。で。つ。ん。と。と。勇。
 ま。る。と。さ。る。と。本。願。せ。ら。も。振。て。吾。々。聽。入。敵。の。率。返。を。再。び。来。ら。ん。自。軍。
 も。十。分。疲。ま。る。と。合。戦。を。以。て。响。あ。ら。む。と。諒。り。初。小。同。が。至。ひ。速。小。引。人。殺。せ。纏。
 る。破。胆。川。と。東。へ。渡。り。惣。勢。尾。州。の。岸。小。引。属。る。速。車。と。支。つ。る。以。安。小。遠。
 ち。を。竹。中。隊。引。込。り。来。ま。さ。も。織。田。勢。の。赤。城。を。これ。が。意。孫。吉。舟。も。力。を。

己が群々退散しけり

本下秀吉新旗五色當標属滝川素性

榊權固小小さきも徳久千介を雁し。再築長一とも。終は水小
没と。この遠道は淡の合戦あり。止中一個の勢をりて。徳計果せし由小
中が長は將承さきも。欺核て敗軍を死地小臨さき退陣さき。鬼神も
置へぬ。謀多り。然れど小織田信長。法洲城小所降陣あり。早速本下を
嘔吐さき。再三謝して宣ふや。予さき方。諫を申ひて。他國へ出馬し。駿東を
換たりし。緯迄さきも。後悔あり。然れど。予さき計を施し。二軍都て恙多。海陣
せし。緯殆不審如何あり。方。湖ありし小や。亂る。一。體を。然れ。惟我君出馬の。河
流ありて。一途小。憐れさき。五。級小。第一。敵の。奇計小。臨り。苦戦したる。事。事。と。密
小。後。居。と。近。江。路。へ。つ。ま。し。ま。照。森。川。拍。原。依。久。重。之。命。原。田。野。守。元。虎。也。

こ上守山北依久重之命。此小。潜居したる。勇士輩を。誘出。謀。謀。謀。
合。せ。嚙。号。せ。宣。ゆ。潜。伏。自。軍。旗。義。小。及。ん。時。ハ。何。時。也。も。五。色。は。旗。也。
う。く。經。七。穴。籠。さん。小。ま。と。着。も。其。六。速。小。瑞。龍。寺。山。の。幸。傳。路。を。招。き。山。
押。進。り。徳。小。人。せ。と。約。年。の。に。果。て。遠。道。は。淡。の。合。戦。に。竹。中。守。意。の。計。
畧。小。り。所。降。陣。を。心。懸。せ。し。心。憎。く。存。ぜ。し。六。何。の。疑。は。標。を。暗。号。を。り
して。假。番。に。士。旗。義。約。小。背。う。さ。て。幸。々。小。軍。標。を。樹。身。を。露。を。し。ゆ。也。
敵。輩。お。く。是。を。怪。し。も。本。城。小。裏。あ。ら。は。な。ま。じ。の。と。一。端。ハ。初。に。退。ひ。て。り。
更。々。為。小。作。り。たる。五。色。の。會。標。小。ひ。ひ。し。所。思。小。觸。ま。あ。ら。せ。好。會。を。作。る。共
魚。を。る。响。の。約。束。の。暗。号。小。違。ひ。作。ゆ。推。て。是。の。會。標。を。作。り。所。意。小。違。ひ。し。終
忍。入。て。假。あり。と。申。上。り。に。信。長。も。掌。拍。て。感。佩。せ。ら。ま。智。謀。の。子。が。小。こ。ん。珠。の
う。ら。ぬ。傳。家。ら。御。懐。想。は。れ。多。も。形。く。方。陣。を。營。々。新。た。り。予。先。を。と。海。入

一 緯實小政忠の至との一。遠後五冬の博せりて汝が跡仕の當標と。是く
 軍事を補佐せよと懇切に課せ玉ふ。亦下大小眉目と安や。遠以後本錦と
 五色小深を懐小佐と。向後大軍を指揮したる小政入と。後羅錦鋪と
 用く作つ。兵藤を極えら進と。今も信長此来小と。心漸く結まりの業藤
 家と攻むこと。火急小の成と。一と。却て色りる小より。姑く出馬と。停らまはるが
 年来の望と。上洛を懐起せ玉ふ。今も小京都の將軍家。好長慶と。所
 和暖ありて。に海漸く静まり。今こそ上洛をさん。の。と。執望と。あらまはる。と。
 押越田家の素原。新波家の巨家あり。信長父の武勇と。徳と。兼脱小
 尾列一系。全く平治せらる。も。將軍家より。評さ玉ふ。國は守護。後から
 ざる。遠道柳堂小系。惟して。尾張一國の守護。職と。評領と。さめり。今
 上洛の。道條の。も。欲。國小通。た。し。勢。別。者。名。の。一。郡。の。と。と。兼。徳。回

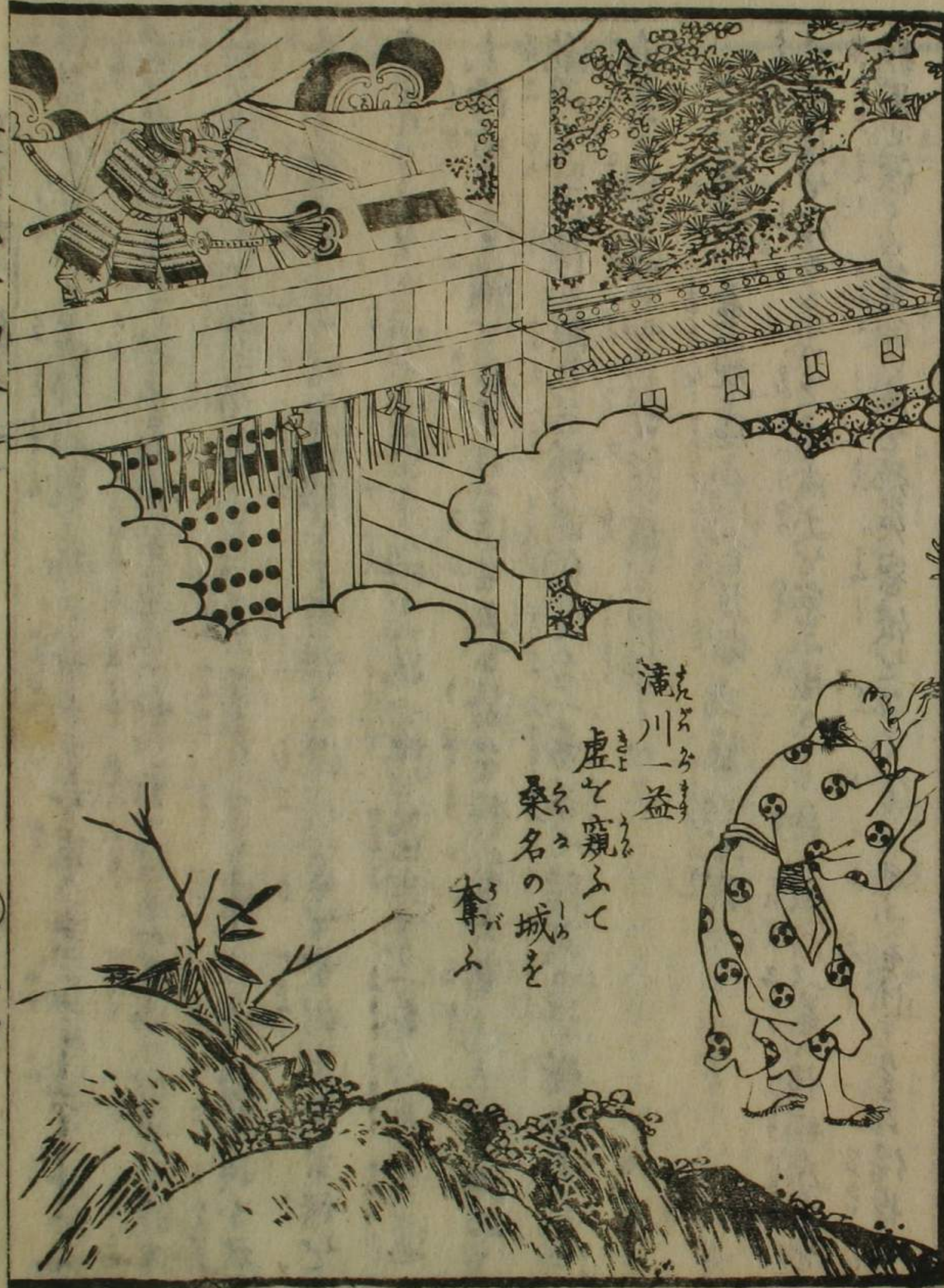
家小属たり。遠渡より。洛や。小。江。列。の。地。に。越。ら。ま。は。る。と。上。洛。と。さ。し
 と。あり。茲。小。系。名。は。一。郡。と。徳。田。領。と。せ。一。和。と。親。小。龍。川。一。巻。が。切。旁。多。り。
 遠一巻と。い。る。人。も。原。江。別。佐。と。亦。六。角。家。の。被。官。と。し。て。甲。賀。郡。の。任。人。多。り。
 原の姓の大伴あり。信長を。甲。賀。系。和。と。列。甲。賀。小。佐。と。漢。七。代。と。亦。出。る。甲。賀。郡。野。川。其。の。姓。
 二村の地。跡。と。せ。り。て。野。川。と。稱。を。更。し。り。て。代。池。田。と。亦。兼。一。巻。と。又。亦。
 大。藤。勇。種。小。と。亦。信。長。深。藤。兵。通。小。信。達。と。亦。然。も。亦。身。性。強。は。る。已。が。勇。
 力。あ。る。小。信。也。教。忠。小。奉。勤。け。る。が。甲。賀。の。百。姓。こ。も。也。誰。と。遠。小。信。達。と。亦。し。
 起。く。信。堂。の。首。當。と。人。も。亦。次。仲。と。り。あ。ま。一。巻。が。放。逐。を。ら。る。と。百。姓。皆。が。不。
 禮。な。ま。と。も。日。来。別。勇。を。應。え。る。と。亦。遠。道。も。推。不。不。殺。せ。り。の。と。亦。同。安。
 せ。小。より。六。角。兼。頼。大。小。恐。り。龍。川。一。巻。と。返。り。て。下。妻。人。亦。彼。と。亦。龍。川。
 信。長。解。保。ま。り。と。亦。入。道。更。小。所。當。也。窮。軍。せ。ん。と。亦。せ。り。六。龍。川。恐。り。提。
 圍。む。と。亦。五。人。次。稻。也。甲。賀。軍。と。道。を。出。尾。列。小。系。り。と。亦。滿。と。亦。大。山。

の山中小田原をせし風小信長の犬勇あり朝と所倦る君小仕へる。建永元年
 小宣しあらんと猶も賢惠を伺ひ奉り。今々織田家の古老より不破河内
 守の訪消息親しく奉り語りひたり。動もなきに信長小仕官の簿と勤ま
 ども猶侍退しへはしむらんと不破遠傳と柴田小語る小柴田も彼も信
 長川小対面し。その心と疑ふと不破誠小尋常ありされば頼小仕官と勤め
 けり。その懇切小稍沈みて織田家小遊客たりしむらんと。信長杖持せんと有
 り。時一益ありと謀をも寸功もなれ。頼と奉り本意ありし是れ
 退くと稱し。多も信長も亦嘆稱し。随分懇切小款待し。桶渡の軍
 は後愈々信長の器量と感し。自將ありと思決し。去永禄三年の冬
 是しが一益信長小仕官たり。衆名の機尾の境より。頼も亦信長に
 是を是なりとをむらる。其意を次五幡下信と伊勢の國司小高の雁柄と

もき。尾羽の園門小摺んと歌を遠傳河津あり。死小やと重し。其時
 織田破殊小欣喜たむし。事令成れ。其子復傳の事あり。其時
 小今形量小員首を率ひ。死小や。其子復傳の事あり。其時
 敵は城地と奪取。自勢の喧領小を多く。頼も亦信長に
 是を是なりとをむらる。其意を次五幡下信と伊勢の國司小高の雁柄と
 心中危ぶむらる。其時。信長小謀る。一益小脱起。同業十月の庚辰。信長
 士様小機軸と宴し。勢別長治小趣きぬ。信小長治の城を。彼時
 長治亮友定といふ人あり。龍川一益との同業。其子復傳の事あり。其時
 長治城小訪ふ。其子復傳の事あり。其時。信長小謀る。一益小脱起。同業十月の庚辰。信長
 信長も亦信長に。其子復傳の事あり。其時。信長小謀る。一益小脱起。同業十月の庚辰。信長
 是下小年甲賀と稱し。其子復傳の事あり。其時。信長小謀る。一益小脱起。同業十月の庚辰。信長

然る近江を出てより。今日まで東國を武者修行し、能瀬せり。是より精
 も中國西國の乃をん雁とて。手書さくかたなる多し。と誦し、やうし流言を
 徳く友室、瀧川が。智勇と信んて。此地小苗め己が幫助小分さんと思へば、
 相面顔なる後、と一巻もくも是と悟り、幕と初んて、早小留やう。小生得弱
 こと幫助流れと物く、吾念ふく。本國道に巡視せし。今東海小國に、士
 勇をへ、織田家小如くを。嘉徳多々君と補佐。既小今川大軍と敷。義
 元を討捕て、勢威死怒徳の像。其小能く方儀、小一大事の涌出。が是
 下と我との、旧年の、後ららる好まあま。得て来てこそ、とさるとな宮肝小へ
 誠、徳を肩と習て、彩へ不平の詞と祈り、のみ、美如く、事の起り、やると同
 小一巻、信と吞込、不能へ、尾列の織田信長を、日大軍と率、後へ、既列の地
 と伐んと、まづ、登着、へ、長嶋を、没墜さ、と、鍊定、好り、是下、織田、徳と防

づ、兼備ありやと、問へ、と、左京、愕然と、と、色と、又ひ、我も、素より、信長の、強は
 と、涼く、患ひ、が、今、推進、あ、如、小、せん、是下、防計、あ、ら、ば、敵、(五)と、怖、らる
 け、り、と、一、巻、心、中、小、ら、ち、軟、び、借、も、我、欲、小、臨、ら、と、猶、も、詞、と、巧、せ、つ、織、田
 の、進、を、拒、抗、げ、ん、偉、た、の、謀、小、難、ら、と、我、願、て、所、尾、列、の、地、蟹、江、へ、入、く
 伊、勢、小、属、し、て、遠、長、嶋、の、有、小、あ、ら、と、云、然、を、れ、が、彼、然、小、城、を、築、ひ、軍、士、を、籠、く
 ち、ら、一、め、織、田、長、治、と、信、ら、ら、ら、蟹、江、に、城、を、援、を、と、出、さ、し、借、も、蟹、江、を
 攻、め、ら、長、島、城、より、彼、を、と、助、け、進、退、小、お、救、を、く、長、蛇、の、威、と、張、ら、る、(小)も、
 蟹、江、の、城、を、安、息、と、を、と、近、村、を、從、へ、が、月、越、来、ま、と、ら、ち、小、尾、張、の、地
 と、も、畏、果、せ、信、長、と、殿、ん、と、難、小、あ、ら、と、思、す、蟹、江、の、城、を、築、く、小、思、ひ、得
 一、計、あり、且、下、從、来、石、山、の、小、願、寺、上人、と、も、信、厚、し、然、る、に、小、願、寺、に、信、長
 と、法、敵、と、も、言、罵、忌、憚、ら、る、と、を、登、く、石、山、の、上、人、を、驚、か、し、金、銀、を、釋、と



豊臣言二終卷六十一

信達たま果して遠傳成就さす。等雨小日と送るまは、秋と遠づき事あり。
 速小起業する。と初まき、左京元成の秋び或の慌まら石山へ使者と達事
 詳小器遣し。只頼小憑まけま、一益が先見小登も遠まを令器を釋か秋
 寺より器遣し。骨時小結構せよとの詞あり。澁川一益と奉りてと、器請と
 急がせらるおより。同十二月の下澁川、既一城と築出せり。一益左京へ直遣
 一。防索の全備と見られ、運送五百騎を釋出具鳥籠まを、残好く
 澁川へ心注し。小蟹江の城へ運納當分一益、固く防戦の準備ありし。と
 左京が詞も心の如く、蟹江の城と押領しけり。

澁川一益窺虚、素素名城、属蟹江防戦

又、素素と信まらふ小い、素素成丈と密小織るべし。然らば、澁川一益へ、服部左京と
 欺果せ、濃くと蟹江の城と築出、密使と以て、織田殿へ、出づるは、信長大

小感悦せらる。指群の功勞ありとて、感帖を中賜し。蟹江の城を、
 よう。素素あらむ小、運送ま百人と遣たま。猶も福く、素素と有得、八則
 一、地の城を、つらんと、所納館ありしより、一益頼小、秋勇を、次、素素を、
 武士と、密撥らむ。防索の言術と、調練し。い、好く、秋は、大軍をも、防戦、
 あり、同、甲、辛、正月の、物、素素の、城、を、伊、勢、之、弟、氏、古、素、素、始、の、賀、儀、を、
 さんとして、國司、此、當、の、居、城、あり、大、河、内、小、越、見、る、と、頼、小、澁、川、一、益、素、
 一、情、小、蟹、江、の、城、を、密、使、を、以、て、事、小、松、素、素、の、城、中、空、虚、の、よ、う、と、
 一、密、使、を、所、遣、確、か、と、秋、起、响、を、素、素、に、素、素、に、推、進、を、
 一、素、素、あらんと、密、撥、指、回、百人と、素、素、に、時、を、素、素、を、過、ぎ、
 一、素、素、小、始、り、る、小、城、中、不、意、に、事、好、ま、
 一、素、素、一、益、頼、一、指、標、を、
 一、瑞、後、植、と、素、素、に、
 一、若、も、分、
 一、城、を、素、素、に、
 一、素、素、に、

九ノ礼揚リ伊勢之舟が妻子を生提一画あり。藤小之助を青雲せり。て
 能勞えらる。無く城門を蔽く。鳴を詰めて軍陣せり。伊勢之舟ハ新
 とも知らず。一夜を過ぐ。その翌日。大河内より歸る。来りて。藤小入らんとす。其
 這方形方の射窓より。弓を挽ぎて。敵を射。面を朝つた。ゆも。是ハ如何と
 果果稍憫然と。さ。一益射樓小願出。人言。志小。無。ゆ。之。舟。氏。言。請
 小所。我。を。船。子。の。名。士。を。隨。へ。夫。下。漫。歩。の。勇。士。あ。る。が。別。々。遠。歩。小。足。之。當。め。如。く
 体。ら。ん。と。あ。る。さ。も。數。子。の。名。士。信。さ。る。家。さ。故。小。當。城。を。棄。而。我。居。城。と
 成。る。ま。は。此。お。も。む。た。と。心。得。上。汝。を。不。從。の。事。ゆ。せ。傳。信。部。へ。の。志。を。奏。せ。し。と。城
 関。推。開。ひ。く。事。妻。子。一。族。を。船。後。依。て。逆。興。さ。る。之。舟。氏。言。あ。ま。り。の。事。小。願。出。を
 舟。を。謹。重。に。扱。て。思。ふ。と。も。い。ん。さ。も。さ。る。方。術。を。傳。へ。軍。勢。を。率。來。つ。て。藤
 藤。小。之。助。と。馬。船。一。舟。子。を。見。果。し。冷。と。大。河。内。へ。を。移。ら。る。こ。こ。より。一。益。を

素名小佐。一。擧。り。り。瀧。川。儀。者。又。能。登。せ。り。之。解。印。を。守。り。を。再。び。遠。を。を
 鐵。田。助。へ。渡。伸。小。及。び。ま。い。信。吉。大。小。感。下。玉。ひ。一。益。を。り。く。と。傳。小。素。名。の。城。を
 たら。め。草。小。五。百。石。を。賜。ふ。と。ま。を。別。々。蟹。江。素。名。二。益。不。の。要。江。を。さ。ら。せ
 たる。こ。こ。小。周。一。益。ハ。糖。へ。素。名。願。の。執。事。を。草。め。茶。の。城。を。氏。吉。が。言。小。一。之。送
 の。昔。小。之。助。親。氏。が。情。を。過。る。小。願。を。兼。儀。を。布。し。傳。小。も。松。江。愛。四。郎。を
 仁。政。を。傳。へ。り。と。六。素。名。解。印。の。下。姓。町。人。願。を。懸。一。益。を。傳。城。を。後。に。藤。小。之。助。に
 傳。も。伊。勢。之。舟。氏。吉。ハ。素。名。の。城。を。取。返。し。一。之。越。を。祈。り。と。六。國。司。を。報。老。臣
 諸。士。達。り。と。外。小。う。ち。野。死。因。者。を。彼。不。小。遣。し。之。事。の。要。居。を。傳。ら。せ。り。と。小。周
 者。難。く。是。返。り。素。名。を。棄。す。一。大。將。ハ。瀧。川。一。益。と。し。つ。者。少。く。藤。小。之。助。に
 事。を。請。ふ。新。鮮。江。の。城。を。築。け。今。又。素。名。を。棄。す。一。那。り。と。も。氏。を。為。す。小
 依。新。鮮。城。自。の。昔。時。小。引。留。入。心。都。く。城。自。小。傳。死。乳。子。の。母。を。ま。と。り。と。細



蟹江の城兵
 飽ちて防ぎを
 服部左京と
 敗走せしむ



やうき。治仲小老居達も小汗垢也。領分の民新の如。降後一ぬらん小言
 易小征伐を難し。緒々所思慮あせ至下と。疎小國主色を失ひいふべし
 と後せらるるを。老居備こ色を説て。長崎素名小使を遣はす意趣也
 精々懇々。國司の幕下小従者。罪を赦し。素名を守らせ。尾張の吉塞
 小一とあへ。その多死支母へ使者を遣はし。衆強は是小一決。
 素名へ使を遣はし。翌日。使者素名小判り。一番小對面。國司の口状を
 渡説し。けさ。瀧川一番大。小英得。中も之ぬ。使者を裁す。汝心小我説を
 靜小とめて。幕下。開も。遠瀧川一番。應仁以來。亂國の民。法塗炭を憐んぐ。
 是を赦ん。為小天下を推行り。不仁不道の賊を誅す。寛仁大勇の君を稱
 助。前。城。之。帝。ハ。懐。貪。小。て。民。を。虐。げ。惡。政。日。々。小。増。長。一。到。我。國。小。任
 命。ら。敵。を。防。ぐ。備。も。な。く。一。朝。一。夕。小。居。城。を。失。ひ。己。が。位。不。小。便。安。ハ。渠。が。思。

純の爲を。不。思。人。を。心。さ。せ。て。存。て。罪。を。我。小。回。ら。ぬ。勢。別。一。系。の。ま。る。む。わ
 高。江。指。揮。あ。ら。す。縱。令。使。を。兼。志。も。國。主。の。政。道。正。し。死。晦。ハ。我。買。一。
 扶助せらる。素山の如く。保ん。若。不。仁。不。義。あ。る。時。ハ。伊。勢。之。所。を。例
 ごとく。忽。天。皇。を。引。率。一。北。畠。一。家。を。伐。滅。一。勢。別。一。系。を。我。有。と。成。さ。ん。汝。等。一。
 詳。小。圖。司。小。勢。と。重。達。せ。ま。と。案。小。相。違。の。近。各。小。使。者。ハ。面。色。出。法。如。懼。怖
 一。途。降。り。ぬ。備。ま。る。長。崎。も。使。者。を。遣。一。瀧。川。が。奉。止。悉。く。張。勢。左。京。が
 身。小。管。長。里。不。存。有。や。と。尋。り。左。京。も。屢。瀧。川。が。不。行。の。心。小。納。附。され
 一。獲。て。素。名。小。使。者。を。遣。解。江。の。城。を。速。小。返。さ。つ。死。由。認。遣。け。ま。一。番。使
 者。小。言。く。い。ふ。や。作。裁。す。趣。を。兼。志。の。作。一。と。も。能。く。指。元。せ。正。一。目。合。小。
 解。江。の。事。こ。も。尾。列。の。界。内。織。田。家。法。不。成。ら。中。小。一。既。小。信。長。上。り。素。名
 一。と。賜。り。我。と。解。江。の。城。を。還。ら。む。然。と。も。是。下。の。金。限。り。ん。成。成。ら。

城より國に法命を肯たせし。後々今更置つて返し給ふと前を小より。後
 者警ひて走返り。小くありと吉原に六太系大小警備あり。我石山の上より
 金根を種と若干倍受。築きし城郭を彼王賊小部を棄てし。こそ
 安らね。先面込を走返れ。と尋討小軍を。進發し。長崎小あり。中願あり。
 門徒の勢をも驅集めて。都合二十余人を率ひ。解江小推寄。心なり。こそ
 素一益が。此城を築く。响の福より。長崎素名の敵を。防ぎ。便利の能き。を
 小據り。城を築く。張勢の。こ。四下。推寄。とも。何久。怖。人。況。進。多。
 くの。こ。門。徒。一。揆。の。未。練。武者。進。退。さ。ら。小。調。つ。と。と。濠。川。儀。を。入。り。流。と。
 着。く。防。戦。け。小。より。進。名。大。軍。死。を。太。系。友。宮。當。が。と。と。し。恐。を。
 更。小。を。甲。斐。な。く。力。及。む。心。退。陣。せ。り。是。小。同。く。長。崎。船。次。を。く。小。解。を。
 江。の。有。と。成。り。日。く。夜。く。小。部。ひ。流。ふ。ん。今。を。全。く。伊。勢。の。駐。柄。大。丈。丈。小。成。

一。少。の。信。長。大。小。部。隊。一。部。ひ。形。を。上。流。の。さ。ん。り。は。と。水。根。四。系。秋。八。月。供。
 船。の。勝。く。八。十。余。人。船。勢。用。より。船。を。出。され。而。小。部。隊。の。力。小。梓。子。軍。さ。り。よ。と。
 當。せ。ど。素。名。小。と。と。の。志。岸。け。と。

繪本豊臣血功記二編卷之二

